

SlackBot プログラム作成の報告書

2018/4/25

藤原 裕貴

1 概要

本資料は 2018 年度 B4 新人研修課題の報告書である。新人研修課題として SlackBot プログラムを作成した。Slack[1] とは Web 上で利用できるチームコミュニケーションツールである。SlackBot とはある契機により自動で Slack に発言するプログラムのことである。本資料では、課題内容、理解できなかった部分、作成できなかった機能、および自主的に作成した機能について述べる。

2 課題内容

課題として、SlackBot プログラムを Ruby で作成する。具体的には以下の 2 つを行う。

(1) 任意の文字列を発言するプログラムの作成

Slack でユーザが“(任意の文字列)”と言って”を含む発言をした場合に SlackBot が“(任意の文字列)”を発言するプログラムを作成する。

(2) SlackBot プログラムへの機能追加

Slack 以外の Web サービスの API や Webhook を利用した機能を追加する。たとえば、ユーザの発言を契機に SlackBot が雨の情報を発言する機能である。

本課題で使用する Ruby のバージョンは 2.5.1 である。

3 理解できなかった部分

理解できなかった部分を以下に示す。

(1) initialize メソッドに記述されている以下のコードの動作

```
@incoming_webhook = ENV['INCOMING_WEBHOOK_URL'] || config["incoming_webhook_url"]
```

このコードは、演算子||で Heroku の環境変数と settings.yml に記述された URL の論理和の計算をしている。これが必要な理由と動作が理解できなかった。

4 作成できなかった機能

作成できなかった機能を以下に示す。

- (1) 指定した Outgoing WebHooks 以外からの POST を拒否する機能
- (2) 指定された地点間の経路を示した画像を表示する機能

5 自主的に作成した機能

移動手段，出発地点，および到着地点から以下の情報を SlackBot が発言する機能を作成した．

- (1) 出発地点から到着地点までの距離
- (2) 出発地点から到着地点までの移動にかかる時間
- (3) 出発地点から到着地点までの経路の詳細を示した Google Map へのリンク

参考文献

- [1] Slack: Where work happens, Slack (online), available from <https://slack.com/> (accessed 2018-04-25).